

竹内家石碑

長野県長野市入山影山

建暦元年（1211年）親鸞聖人が戸隠山に御参籠され、風越の峰より、竹内学内が御案内を申し上げ、家にお泊りになられた。女房佐恵女に阿弥陀如来の尊像一軸を授けられ、学内が上人の御弟子となった記念に木像の太子の御本尊を頂いた。慶長10年（1605年）朝日山本覚寺に奉納したが、一代に一度寺からお迎えして開帳した。この石碑は親鸞聖人が訪れた旧跡として、同年作られたものである。竹内とは、聖人から頂いた姓名で木曾義仲一門と伝えられている。



竹内家石碑